

# 鷺宮高校 社会科フィールドワーク通信 Vol.7(2024. 1月)

## 社会科同好会準備編④

1月21日(日)、「社会科同好会(仮・申請中)」のうち、1学年生徒1名＋社会科教員1名で、阿佐谷地域区民センターを会場に開催された学習会『ビキニ事件・杉並の原水爆反対署名運動の取り組みから学ぶ一署名数「区人口39万中26万」と「全国3200万」達成の重み』に参加しました。講師の丸浜昭さんは、元・筑波大付属駒場中高の社会科教員で、都立大学でも教えていらっしゃいますが、今回はお連れ合いの故・江里子さんが書かれた本(『原水爆署名運動の誕生—東京杉並の住民パワーと水脈』、『ほうしゃの雨はもういらぬ』)をもとにお話されました。1954年、アメリカの水爆実験で第五福竜丸などの漁船や南太平洋の島々の住民が被ばくしてから70年、あらためて学習する大切さを感じました。

お話の内容の一部を紹介します。

…当然、ビキニ環礁で被ばくしたのは第五福竜丸だけではなかった。そしてそれは、たくさんの魚(マグロ)が被ばくしていることを意味した。全国18の魚市場でマグロの放射能検査が始まった。東京都では…職員が毎夜、ガイガー計数機をもち一頭一頭検査し、よし／だめを判定した。5月半ばまで6回も行われた核実験の影響は著しく、睡眠を削り命がけで獲った魚を元の海に棄てさせられ、漁民の収入は激減した。



当時、魚は日本人の重要なタンパク源であり食卓に上ることが今以上に多かった。だからこの問題は家庭の食事担当者たち(多くが女性だった)の大きな関心と呼び、水爆実験に対する怒りを高めた。また、当時は魚はスーパーではなく町の商店街にある魚屋さんが扱っており、魚屋さんにとっても死活問題だった。「魚屋殺すにや3日もいらぬ。ビキニ灰降りやお陀仏だ」とうたわれた。…魚屋の

菅原とみ子さんは、杉並婦人団体協議会の講演会が終わったあとの会場で立ち上がり、「マグロに放射能が含まれているということで、魚が売れなくなり、魚屋は困っています。このままでは店を閉めなければなりません。私たち杉並魚商組合で原水爆禁止の署名にとりこんでいます。1人でも多くの方に署名していただきたいんです。」と声をあげた。必死の訴えは参加者の胸を打ち、これが杉並の署名運動の一つのきっかけになる。そして、戦前の愛国婦人協会を母体とする杉並夫人連盟代表の自由党区議も努力し、「人類の安寧を乱し…破滅に導く」「水爆の製作は、…目的…理由の如何にかかわらず直ちに断じて…禁止すべき」と、杉並区議会で満場一致で決議された。

5月中には杉並区長、区職員、全区議の署名が完了した。そして短期間に136名に及ぶ実行員が集中して取り組み、タイトル副題に示した通り、5月から6月の約1ヵ月半(約40日)で人口39万人の杉並区で26万人分(人口比66%に及ぶ)の署名を実現した。女性が集めた署名が全体の約73%と推察されている。

全国へと広がった署名の総数は、1955年8月7日に3216万709筆に達したと報告されており、歴史に大きな足跡を残した。①政治運動とは異なる平和運動が持つ独自性・可能性を示すことになった、②広島・長崎の被爆者運動を発展させるきっかけとなり、被爆者救済に目を向けた。原水爆禁止世界大会を実現させた、③米国の対日政策に一定の影響を与えた。…

以下、参加した生徒の感想を紹介します。

◆この間は第五福竜丸事件について歴史の素晴らしい先生から直接聞くことができ、とても貴重な体験ができました。近くにいた放射線を受けた人だけでなく近くにいたマグロなどの魚、それを食べる・売る人たちにも悪影響を及ぼしていると知り、考えさせられました。ただ話を聞くだけだと思っていたら、映画を見たり感想を共有したり少し難しい内容でありましたが、深く学ぶことができました。1人でも行ってよかったなと思いました。貴重な体験をありがとうございました。